



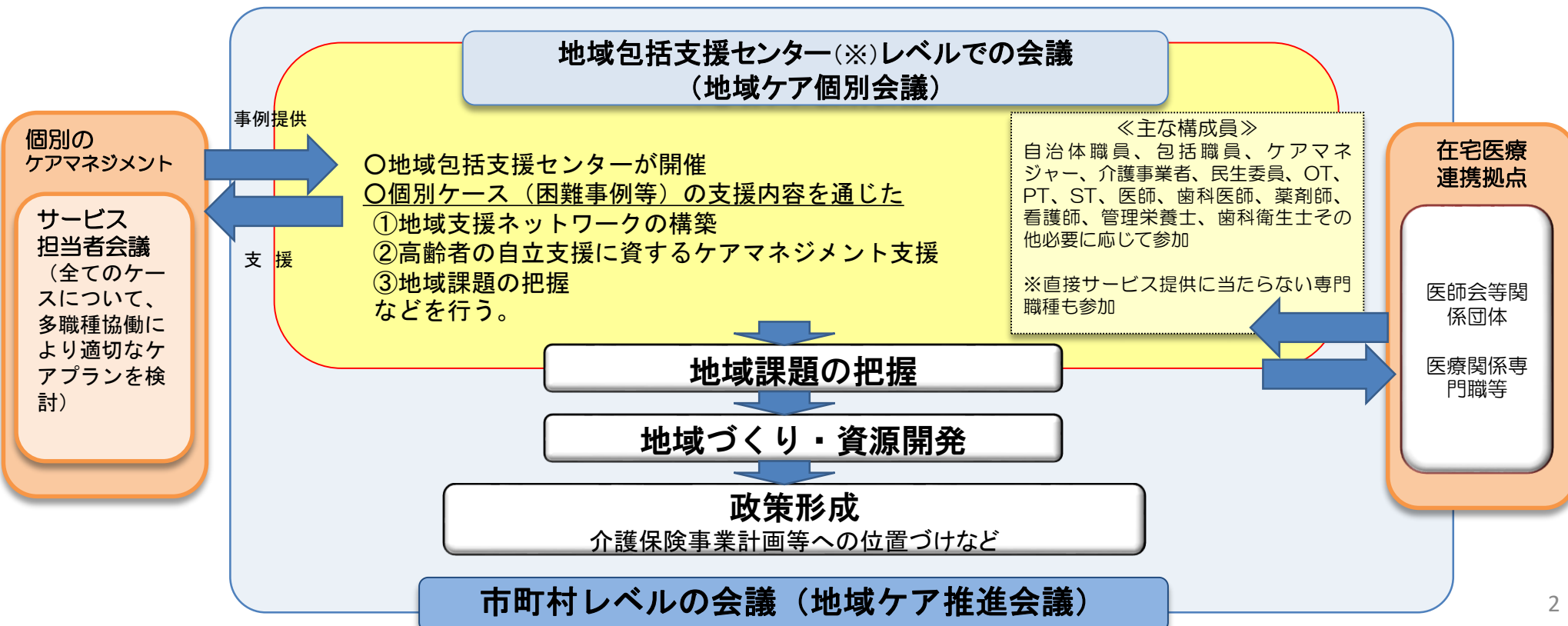
9期計画期間中における 地域ケア個別会議の運用について (案)



地域ケア会議の推進

- 「地域ケア会議」(地域包括支援センター及び市町村レベルの会議)については、地域包括ケアシステムの実現のための有効なツールであり、更に取り組を進めることが必要
- 具体的には、個別事例の検討を通じて、多職種協働によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築につなげるなど、実効性あるものとして定着・普及させる。
- このため、これまで通知に位置づけられていた地域ケア会議について、介護保険法で制度的に位置づける。

・地域包括支援センターの箇所数: 4,328ヶ所(センター・ブランチ・サブセンター合計7,072ヶ所)(平成24年4月末現在)
 ・地域ケア会議は全国の保険者で約8割(1,202保険者)で実施(平成24年6月に調査実施)



地域ケア個別会議(地域生活応援会議等)の実施状況

	期間	会議開催数 (回)	延べケース件数 (件)
地域生活応援 会議 (要支援)	2014.10.15～ 2023.9月末	390	2, 258
ケアプラン点検 (要介護)	2019.3.22～ 2023. 9月末	54	80

桑名市の第6. 7. 8期における「地域生活応援会議」の変遷

	【A型】	【B型】	変遷の際の諸々の取り組み	備考
【5期】 H26	H26.10～新規に在宅サービスを利用開始する要支援者等(地域包括支援センターの直営プランのみ)対象 H27.1～外部委託ケース、小多機・GHのケース追加		H26.10～主任CM・CM・介護事業者に対し応援会議説明会実施 H27.4～傍聴を受け入れる旨通知 応援会議アンケート実施	和光市 杵築市 (H26) 視察
【6期】 H27 H28 H29	H27.4～【会議本格稼働】 ケアマネジメントAサービス利用者 H28.10通知 応援会議回数は1ケース3回まで H29.10～がん末期の方、ショートステイのみの利用は対象外	H27.4～地域包括支援センター単位で実施する ケアマネジメントB サービス利用の対象者	H27.10 会議アンケート実施 H28 CM向け「総合事業説明会」実施 H29.1アセスメント研修会 H29.4～様式の見直し H29.10 会議アンケート実施	生駒市 (H27) 視察
【7期】 H30 R1 R2	H30.4～包括職員の会議への出席について改定(各包括1人づつとする) ～くらしいき教室利用のケース会議の開催時期改定(サービス利用開始から概ね1ヶ月以内) ～1ケースの会議回数2回目まで H30.10～新規利用以外の要支援者のケースも対象とする。 R2.4～福祉用具のみは会議対象外とする R2.5～くらしいき教室のみ利用の会議の運用変更 R2.12～オンライン会議を開始 R2.9～タイミング 会議開始1か月以内	H30.4～サービス終了時のB型会議は不要 R2.8～オンライン会議を実施 R2.5～「くらしいき教室」のみの利用はB型会議へ変更	H30.4～様式・運用改定(いきいき訪問などの新たなサービス提供に合わせて) R1.5 様式変更(元号) R1.10 会議アンケート実施 R1～書面ケアミーティングに運用変更 R2.4～対象変更に伴う様式変更 R2.9～応援会議前のケアミは不要	東員町 寝屋川市 視察
【8期】 R3 R4 R5	R3.4～認知症自立度Ⅱb以上の方・指定難病の方は会議対象外とし、リハ職によるアセスメント支援として、訪問C「いきいき訪問」の活用を位置付け 1ケースの会議回数は2回目まで	R3.4～「くらしいき教室」のプラン期間終了後、継続してサービス利用の場合に、1ケースにつき1回のみ開催(評価会議)	R4.7～ A型・B型の類型を廃止 90歳未満で認知症自立度が、IまたはⅡa((在宅生活が難しくなる要因)の方)を対象者を限定 会議の回数は、1ケースにつき、1回まで 市独自様式の提出不要	

桑名市の「地域ケア会議」(8期)

① 各分野で指導的な立場にある地域の関係者の参加を得た、政策提言のための「**桑名市地域包括ケアシステム推進協議会**」

② 各圏域で、地域課題の分析・抽出、地域づくり、資源開発などに取り組む「**圏域会議**」

③ 地域の高齢者世帯の困難事例の解決のための「**地域支援調整会議**」

地域ケア個別会議

④ 多職種協働でケアマネジメントを支援するための「**地域生活応援会議**」・「**ケアプラン点検**」

地域ケア会議における課題抽出から政策形成イメージ（8期）

桑名市地域包括ケアシステム推進協議会（政策形成の機能）

個人を支える
社会基盤の整備

地域課題の抽出及び地域づくり・資源開発の機能

生活支援Co.
定例会

「協議体」、地区・圏域レベルでの会議

圏域会議

高齢者個人の支援の充実
（ケアマネジメント支援）

個別事例検討の積み重ねによる課題抽出の機能

ケアプラン点検
（要介護）

地域生活応援会議
（要支援）

地域支援調整会議

認知症型

共生型

認知症地域支援
推進員部会

総合相談
調整会議

「地域ケア会議」の目的（8期）

目指すところ

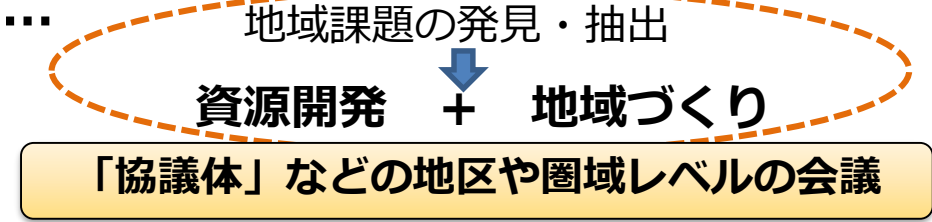
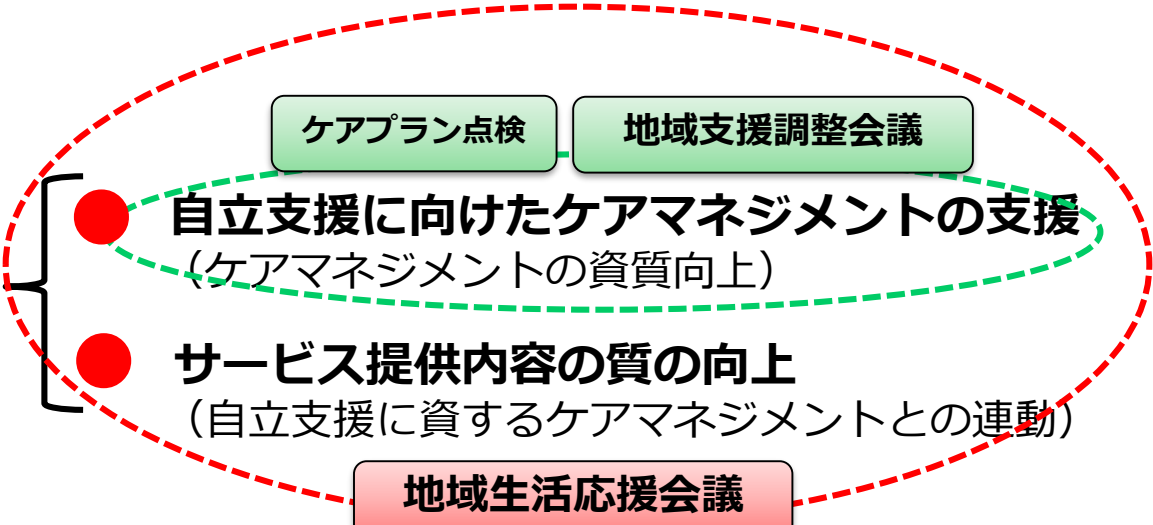
そのためには

高齢者の尊厳保持
↑
**高齢者の
自立支援**

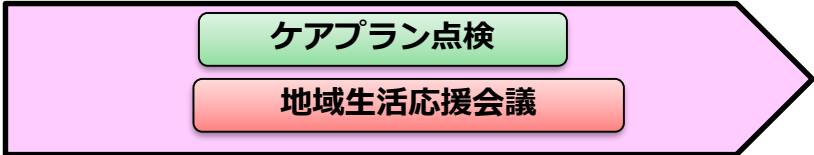
単に身体機能を回復することだけではなく、たとえ身体的にハンディがあったとしても、持っている能力を最大限活用して、自分らしい（マイペースな）生活ができる限り続けられるように

■ 高齢者個人の支援の充実

■ 個人を支える社会基盤の整備



桑名市地域包括ケアシステム推進協議会（政策形成の機能）



介護（予防）サービス計画・サービスの適正化

8期における現状

- コロナ禍(令和2年度)以降、Web形式での開催に変更。
- R4.7月～、アンケート結果を受けリニューアル。
 - ・アドバイザーからの一方通行にならないよう、ワーキング形式に変更
 - ・市独自様式の提出を廃止
 - ・会議対象となるケース数を削減(認知症自立度ⅠまたはⅡaのみを対象)
(240件/R3年度 → 67件/R4年度)
 - ・1ケース当りの時間を長くし、より丁寧に自立支援に向けたケアマネジメント支援を実施
- 個別ケースからの地域づくり、地域資源とのマッチング等を、会議の中で共有。

課題

- Web開催の継続、提出資料の削減等、参加者の負担軽減を図ったが、会議に対する負のイメージが強い。参加することが目的となったり、Web形式で双方向のコミュニケーションがとりづらいいといったことにより、自立支援に向けたケアマネジメント支援の場として十分機能していない。
- 会議の中で、個別ケースからの地域づくり、地域資源等について、地域包括支援センター等と共有を図ってきたが、会議対象ケースの減少もあり、圏域会議等との連動や、生活支援コーディネーターとの協働による地域資源の開発や、資源とのマッチング等が十分にできていない。
- 会議でのアドバイスも含めた、自立支援に向けたケアマネジメント支援において、経験年数やOJTの場の不足などが、地域包括支援センターの職員間の力量の差に、影響しているのではないかと。

対応方針

- ケアマネジメント支援、地域課題の抽出等の目的達成に向けた実施方法を、ケアプラン点検との連動性にも配慮しながら検討します。
- アセスメント支援として、訪問C「いきいき訪問」の活用を再周知します。
- 個別事例の積み重ねからの地域課題の抽出、地域づくりを目指すという当初の目的に立ち返り、個別事例の対応が地域づくりの入り口であるという意識の統合を、改めて行っていきます。
- 地域ケア個別会議を通して、地域包括支援センターやCMの、自立支援に向けたケアマネジメント支援のスキルアップが図れるよう、方法を検討します。

8期における現状

- 月2ケースをWeb形式で開催。できる限り多くのCMに参加してもらえるようにケースを選定。事業所の管理者や他の職員も、可能な範囲で参加していただいている。
 - 多くのCMが所属する、比較的規模の大きい事業所が複数回対象となっている
- 自立支援に資するケアマネジメント支援を行う中で、CMに共通の課題を把握し、オブザーバー・アドバイザーである三重県介護支援専門員協会桑員支部・地域包括支援センターの主任CMと共有している。

課題

- CM個人単位で点検受験者が増えるようケース選定するため、比較的規模の大きい事業所は、点検(ケアマネジメント支援)を受ける機会が増えることに加え、事業所内で事例検討や相談ができる体制が、比較的整っていると思われるが、一方で一人CMなど相談体制が整っていない事業所への支援が十分にできていない。
- Web形式のため、双方向のコミュニケーションがとりづらい。
- 保険者(点検者)は専門職が不足しており、資質向上が十分に図れていない。
- 普段、介護のケアプランと触れる機会が少ないため、アドバイザーとして参加する地域包括支援センターの主任CMの負担感が大きい。

対応方針

- より効果的なケアマネジメント支援に向けた、ケースの選定方法の再検討を行います。
- 双方向のコミュニケーションがとりづらいWeb形式について、実施方法の見直しを検討します。
- 三重県介護支援専門員協会桑員支部、地域包括支援センターと協働し、より効果的な実施ができるよう実施方法、業務委託内容等を協議、検討します。
- 自立支援に向けたケアマネジメント支援について、地域生活応援会議（要支援）、ケアプラン点検（要介護）、ケアミーティング（届出制）が連動し、より効果的に実施できるよう、検討します。



桑名市
KUWANA CITY

介護部会 (10月24日開催) でのご意見



本物力こそ桑名力

介護部会(10月24日開催)でのご意見

- 「地域生活応援会議」という名称の記載がないが、改めて地域ケア会議の在り方を含めて考えていただきたい。
- ケアミーティング(届出制)について、実情は書類のやり取りだけになっている。見直し、廃止等の検討をしていただきたい。